

ニュースレター

2023.11 発行

移動の先に待っていることがある～

認定 NPO 法人 横浜移動サービス協議会

ベネチア号で 二胡を聴く サウンドクルーズ楽しみました

横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業

アパリティーヴォ

アパリティーヴォ初の特別企画でサウンドクルーズ。

10月25日(水)、ヨコハマの港に流れ込む運河・大岡川を、日ノ出棧橋から1時間かけてゆったりとクルーズしました。

しかも、今回は二胡の演奏付き。二胡奏者 麓郁代さんの奏でる美しい音色に、参加者の皆さんはうっとり。みなとみらいの自動車道近くのオープンエアと万国橋の下には船を停めての演奏でした。

橋の下では自然なエコーがかかり、幻想的ともいえる響きに包まれました。

みんなでワイワイ楽しくて、
二胡の演奏は優雅なひと時
リフレッシュできました。

見慣れた景色も全然違って
見え、最高でした。
ベネチア号の方々は皆さん
優しくいい方ばかり。
ガイド付きなのも良かった。



<編集/発行>

〒231-0016

横浜市中区真砂町 3-33 セルテ 11F
よこはま市民共同オフィス内

認定 NPO 法人横浜移動サービス協議会

電話：045-212-2863

FAX：045-212-2864

e-mail：info@yokohama-ido.jp

トピックス

1. *アパリティーヴォ
サウンドクルーズ楽しみました
*お出かけプレゼント
2. *横浜移動サービスの研修は
講師が魅力的！
*ガイドヘルパー研修日程
3. *アートな作品作りに挑む
IKI KI カンパニー
*アパリティーヴォ
4. *横浜移動サービス協議会が
「毎日社会福祉顕彰」受賞
*ご寄附お礼

ホームページは
こちらから



お出かけプレゼント寄附しませんか

移動に困難を抱える方たちにお出かけの楽しみを
プレゼントしませんか

1口3000円

当会に寄附されると、所得控除または税額控除のいずれか、また個人住民税の寄附金税額控除が適用されます。
詳しくは当会ホームページをご覧ください。

横浜移動サービスの研修は

講師が魅力的!!

横浜移動サービスのガイドヘルパー研修では、様々な障害当事者の方々が講師を務めています。研修プログラムの中で当事者の方の話を聞く時間を組み込んでいる研修はよくありますが、横浜移動サービスでは、障害当事者であり事業運営者でもある方に講義をお願いしています。

受講生の皆さんからは「当事者の本音が聞けて参考になる」「普段聞けないことも質問でき、今後活かせる」など、とても高い評価をいただいています。

服部一弘
全身性ガイドヘルパー
養成研修講師



健常者と障害者を比べた場合、何が同じで、何が違うんだろう。。。考えたことがありますか？健常者でも、肩が凝るとか、最近耳が聞こえないとか、そんな不便の呼び名を障害と呼んでいるだけではないですか？もしかしたらあなたも障害者？

「肉体的にできないこと」をサポートすることがガイドヘルパーの仕事だと思います。

研修で、車椅子に乗ってみたり、トイレに入ってみたり、目新しい体験を通して、いろいろと勉強し、障害者支援をしようとする姿勢は素晴らしい事です。

ただ、これだけは忘れないでください。言葉が通じなくても、動きが変だとしても、同じ人間なのです。「そんなの当たり前じゃん」と言うかもしれませんが、貴方と一緒にいる障害者の側に立って、いつも障害者の隣にいて、相手の気持ちを意識する、そんなヘルパーになって、欲しいと思います。

安藤将大
同行援護従事者
養成研修講師



わたしはユニバーサルデザインのアドバイスする

会社を、大学3年生のときに立ち上げました。当時の岡村理事長には、呑みながらいろいろ教わったのを覚えています。

そんな中で同行援護従事者養成研修をご依頼いただきました。初めての研修が2018年秋で、今年で5年になります。

わたしたち視覚障害者にとって、お出かけは命懸けです。信号があるかないかもわからず、駅ホームは欄干のない橋に例えられます。お出かけしないと友達にも会えなければ仕事もできず、社会から取り残されたような気持ちになってしまいます。同行援護はそんなわたしたちが、安心してお出かけできる制度です。そしてそれに携わる従事者は、わたしたちと社会の橋渡し役と言ってもいいでしょう。

研修は楽しく学べて分かりやすいように工夫しています。絶対に寝かせません。わたしたちの想いや同行援護従事者の大切さについて、一人でも多くの人にお伝えできれば幸いです。

ガイドヘルパー研修:知的コース

- ① 2024年1月20(土) 9:30~17:00
 - ② 2024年2月3日(土) 9:30~18:10
 - ③ 2024年2月4日(日) 9:30~16:30
- *3日間とも受ける必要があります

会場) 関内セルテ 11階 よこはま市民共同オフィス
受講料) 24000円

全身性と両コース受講の場合:40000円

ガイドヘルパー研修:全身性コース

- ① 2024年1月20(土) 9:30~17:00
 - ② 2024年1月21日(日) 9:30~17:00
 - ③ 2024年1月27日(土) 9:30~14:00
- *3日間とも受ける必要があります

会場) 関内セルテ 11階 よこはま市民共同オフィス
受講料) 24000円

知的と両コース受講の場合:40000円

アートな就労継続支援 B 型 IKI KI カンパニー

どんどん進化する IKI KI アート

IKI KI カンパニーで自主製品を製作、販売するようになってから 1 年半近くが経ちました。

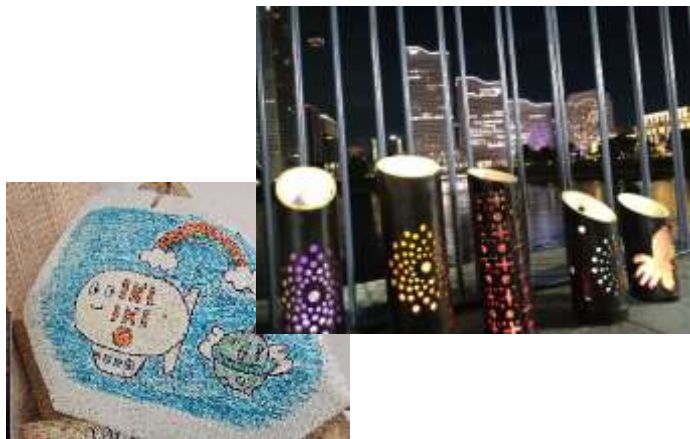
SDGs (持続可能な開発目標) をテーマにした IKI KI の製品作りは大きく二種類に分けられます。一つは捨てられる運命の壁紙クロスを利用した製品、もう一つはお寺などで間伐作業した竹を利用した製品です。いろいろと試行錯誤を繰り返しながら製作を進め、様々な場所で物販やワークショップを行っています。

壁紙クロスを使ったエコバッグなどの製作では、キャンバスのような風合いのクロス生地にイラストや絵を描いています。日常生活ではほとんど絵を描く機会などなかった利用者さんたちが「描いてみたら描けた!」と自分の才能に驚いています。

竹製品づくりではこの作業に「ハマる」利用者さんが続出。特に竹あかりでは自分でデザインし、竹に穴を開けるドリルの技巧が「超絶技巧!」と形容したくなるほどたくさん穴をきれいに開ける技術を身につけた利用者さんもいます。また穴と穴の間を小型ノコギリで切って動物や人などのシルエットをきれいにくりぬく「くりぬき」の技法を身につけた利用者さんもおり、IKI KI 竹製品の進化が止まりません。

IKI KI の利用者さんたちが表現するデザインやイラストは、表現の純粹さが断然光っていると感ずます

またいろいろな場所で物販を続けているうちに、常日頃「人が大勢いる所が怖い」と言っていた利用者さんが「自分はいろいろな人と交流することが一番楽しい。よし、接客の仕事を探してみよう」と決心して、求人票を自分で探して面接に行き、レストランに就職できたという喜ばしい出来事もありました。それから物販の時、サービスで配布するアートバルーンも、何人かの IKI KI の利用者さんがバルーンの作り方を覚えて「こどもたちの人気者体験」を楽しむようになってくれたことも、本当に良かったと思っております。(IKI KI スタッフ 星野)



福祉移動サービス研修会(認定講習)

- ① 2024年1月20日(土)10:00~17:00
会場) 戸塚自動車学校 (泉区新橋町 2138)
 - ② 2024年1月21日(日)10:00~17:00
会場) 横浜市中区社会福祉協議会(中区山下町2)
- *2日間とも受ける必要があります
受講料) 11,000 円 / 会員価格 10,000 円

*福祉活動者のための安全運転~移動支援の技術
習得と理解のための国交省認定の講習です

アペリティーヴォ

いくつになっても自分らしく生きる
出会いとくつろぎの場



多くの方に、もっと気軽にご参加頂けるよう
10月から参加費を大幅値下げしました

<参加費> 月・火・金曜 200 円
水・木曜 500 円

(ゲスト講師を迎えての介護プログラム)

**いずれもワンドリンク&お菓子付き

<時間> 13:00~16:00

月・火・金曜は、この時間内であれば
いつでもご自由に、どうぞ。

マイペースで くつろぐだけでも OK!
趣味を拡げたい方も、ゆっくり過ごしたい方も、
お喋りを楽しみたい方も、ぜひお立ち寄りください

見学・参加 大歓迎!!

JR 関内駅前セルテ11階よこはま共同オフィス内

☎ 045-212-2863

受賞しました！ 毎日社会福祉顕彰



横浜移動サービス協議会は、2023年度 第53回 毎日社会福祉顕彰を受賞しました。

毎日社会福祉顕彰

主催：毎日新聞 東京・大阪・西部社会事業団 後援：厚生労働省、全国社会福祉協議会

今年は、全国の社会福祉関係の個人や団体の中から優れた業績をあげている下記の3団体が選ばれ、10月31日に東京都千代田区で開催された贈呈式で、賞牌と賞金が贈られました。

<2023年度 受賞団体>

認定 NPO 法人愛実の会人形劇団紙風船(名古屋市)

阪神高齢者・障がい者支援ネットワーク(神戸)

認定 NPO 法人横浜移動サービス協議会(横浜市)

第53回 毎日社会福祉顕彰 贈呈式



2023年10月31日 受賞会場にて

服部一弘理事長は、毎日新聞のインタビューに答えて、「障害者や高齢者を対象に、外出支援のほか、健常者に障害者の目線を体験してもらう取り組みなどを行っている。障害者が楽しめるツアーの企画や観光の支援に力を入れたい」と、意気込みを語りました。

横浜移動サービス協議会は、法人化20年を迎えました。今後も当事者の皆さまと共に移動支援をもとにした幅広い活動を目指します。

【授賞理由】

長年にわたって地域福祉における移動支援活動に取り組み、横浜市の関係部局や社会福祉協議会等と協働し、市内の移動サービス団体との連携ネットワークを拡充し、移動困難者の移動支援に取り組んでいます。

車両による送迎だけでなく、障害児・者の外出付添い事業や商業施設など人が多く集まる場所でのバリアフリー調査や店舗スタッフの福祉研修、外出意欲促進を考慮した企画にも取り組んでいます。

現在では国土交通省運転講習の他、ガイドヘルパー養成研修等の人材育成にも力を入れています。

高齢・障害・子育てなど幅広く横断する事業を展開する中で、当事者参加を第一に考えた活動を展開しています。



【ご寄附くださった皆さま】ありがとうございました

木村裕之、鈴木喜美子、NPO 法人総ぐるみ福祉の会理事長・保永博行、遠藤嘉広、NPO 法人お元気音色の会、山野上啓子、ミントの会、石山京美、田中圭、NPO 法人市民ハート理事長・明石一明、高草木、高原美咲、千葉茂樹、愛敬恵子、白石史哉、白石智哉、長谷川成喜、服部一弘、マキノヨウコ、障害者支援フォーラム、青木加奈子、タカヤマミホ、越智祥太、伊藤芳幸、西脇かほる、浦崎さゆり、佐々木健瑛、浅香由美子、田口博、小柳美和、千木良孝之、八百板平、伊藤栄子、長井幸恵、野口香緒里、窪田敏、渡邊昭宏、三好広文、福島宏、風間航一、蔵本美佐子、天野恒雄、天野和子、天野恒彦、佐々木忠之、佐々木昭司、佐々木一美、佐々木亮太、藤巻香、中浦俊一、野田悠太、菊地俊宏、田村聡子、小泉廣男廣川雄一、廣川玲音、広川心優、矢野七海、小谷パルククラブ会長・右城栄一、山王森ハイツつき会、(特非)かながわユースボランティアりんぐファクトリー、川出欣司、(株)はまりハ・渡辺大三郎、石井良夫、江口幹郎、後藤まゆみ、後藤英雄、矢部雅子、星野英俊、弁護士法人アルカディア・戸田彰、工藤建設(株)代表取締役・工藤英司、山野上敏夫、(公社)かながわ福祉サービス振興会・梅澤厚也、牧野洋子、荒井貴充、(合同)相模福祉タクシーエスコーと、和田あゆみ、千木良孝之、移動サービス W.Co らら・むーぶ金沢、NPO 法人あさひ理事長・鷹箸勝雄、千丸台地区社協・南出俊男、坂口裕治郎、(株)悠ゆう、松浦紀子、NPO 法人暮らしサポートの会福ちゃんパワー理事・渡邊貴士、室津滋樹、(株)横浜ハウネス、鴨川恵美子、(株)あしたのなえ代表取締役・瀧川昌樹、(株)アイネット創業者最高顧問・池田典義、(株)魁、(株)グレイスケア、星野晴彦



ご寄附のお願い



あなたの気持ちがチャレンジャーを支えます！

私たちは、移動に不自由を抱える方の課題解決のために法制度外の助け合い活動を行う団体・個人の相談、ネットワーク作りに取り組んでいます。

お預かりした寄附金は、移動サービス情報紙やお出かけ企画等に活用します。

<ご寄附振込口座>

ゆうちょ銀行 ○二九支店(当)0136638
トクヒ) ヨコハマイドウサービスキョウギカイ

当会へのご寄附は所得控除または税額控除のいずれか、また個人住民税の寄附金税額控除が適用されます。すなわち、あなたが応援したい法人に寄附することで、税金の使い道を選ぶことができます。

寄附に伴う確定申告の手続きは⇒(国税庁 HP)

